

平成22年度「手づくり郷土賞」^{ふるさと}認定証授与式の開催について

— 企画部広域計画課 —

平成22年度「手づくり郷土賞」について、全国で61件の応募があり、四国地方整備局管内からは、「道から始める『新しい公共』のまちづくり」の1件が、一般部門として選定されました。

「手づくり郷土賞」とは、地域の魅力や個性を創出している、良質な社会資本及びそれと関わりを持つ優れた地域活動を、一体の成果として発掘・評価し、「手づくり郷土賞」として表彰することにより、好事例を広く紹介し、個性的で魅力ある郷土づくりに向けた取組が進むことを目指して、昭和61年度に創設された、平成22年度で25回目の開催となる国土交通大臣表彰です。

東京で行われた選定委員会において、「道から始める『新しい公共』のまちづくり」については、「地道な実践と、「新しい公共」など、最近の動きを概念的にも取り組もうとしている姿勢がうかがえる点。」が、評価されました。

(1) 活動地域



国道11号新居浜バイパス

(2) 認定証授与



認定証及び記念品授与

(3) 記念撮影



出席者記念撮影

(4) 記念植樹



泉川中学校生徒との記念植樹

1月27日に開催された認定証授与式には、泉川校区連合自治会長、新居浜市長、及び四国地方整備局長などが出席し、認定証及び記念品の授与を行いました。

出席者からは、受賞の喜び、今後の地域づくりへの抱負や、意気込みなどをお話いただきました。

午後からは、国道11号新居浜バイパス中央分離帯にて、記念植樹が行われ、認定証授与式出席者と泉川中学校の生徒、合わせて約110名が出席しました。